

政策保有株式の状況と 今後の成長投資について

注意事項

この資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

以下に、事業展開上のリスク要因となる可能性があると考えられる主な事項を挙げますが、これらに限定されるものではありません。

- (i) 新製品開発の失敗
- (ii) 医療保険制度の改革による事業環境の変化
- (iii) 競合品や後発品の影響により、期待した成果を得られない可能性
- (iv) 第三者による知的財産の侵害等
- (v) 自然災害や火災などで、生産の停滞・遅延発生による製品供給の滞り
- (vi) 市販後の医薬品における新たな副作用の発現
- (vii) 為替レートの変動や金利動向

また、この資料には医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれていますが、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

政策保有株式の縮減状況

● 縮減計画

2018年11月から3年間かけて2018年3月末時点の保有銘柄数および金額（時価ベース）を30%縮減する。

	2018年3月末	2021年3月末	縮減	縮減率
保有銘柄数	111 銘柄	70 銘柄	41銘柄	- 36.9 %
貸借対象表上計上額	1,671 億円	1,370 億円	301億円	-18.0 %
2018年3月末 時価ベース	1,671 億円	1,192 億円	479億円	-28.7 %

今後の政策保有株縮減計画

➤ 中長期計画

純資産の10%未満を目指す

➤ 次期縮減計画（3ヵ年計画）は2021年11月の決算説明会において公表予定

※2022年3月末までに純資産の20%未満まで縮減

	2018年3月末	2021年3月末	2022年3月末
純資産額	5,244億円	6,352億円	6,500~ 7,000億円
政策保有株 (B S計上ベース)	1,671億円	1,370億円	1,270億円
比率	32%	22%	18~20%

当社の成長戦略と投資方針

- ① 製品価値最大化 ⇒ 成長のための原資獲得
 - ② 研究開発体制の変革
 - ③ 海外への挑戦
⇒ 事業領域の拡大
 - ④ 企業基盤の強化 ⇒ 成長を支える基盤づくり
- ⇒ 将来の成長への投資

今後の成長投資

政策保有株式の流動化によって創出したキャッシュ（**1,000億円**）と手元資金を持続的な成長のために、今後**5年間で2,000~2,500億円**投資する。

< 成長投資項目 >

● 創薬事業強化（**1,500~2,000億円**）

- P O C 確立したパイプラインのグローバル権利の獲得
- 研究プラットフォームとの戦略的提携、取込み
- 創薬ベンチャーへの投資（C V C）

● 事業領域拡大

- 海外開発拠点・販売網拡充
- 新規ヘルスケア事業
- DXファンド

● 企業基盤強化

- デジタル基盤整備、I T・デジタル、設備投資

● 創薬・技術ベンチャーの複数M&A

300~500億円

*****億円**

 **小野薬品工業株式会社**

Dedicated to Man's Fight against Disease and Pain